

届出者	株式会社北國新聞社	設計者	谷口建築設計研究所
分類	事務所兼複合施設	所在地	広小路地内
設計コンセプト	<p>眼前に広がる古城公園の水と緑に恵まれた豊かな景観と調和する美しい景観を整備するとともに、四季折々の風景を建築内部に取り込む計画とすることにより、建物を通して富山新聞、富山新聞文化センターの活動が市民に魅力あるものと感じられる場所となることを目指した。敷地の幅を最大限に活用した外観は、高岡の歴史的な千本格子の町並みをイメージした可動ルーバーと、桜並木をはじめとした周辺景観に配慮したベージュの石貼りで構成している。</p>		
景観配慮箇所	形態及び意匠、素材、色彩、位置、緑化		
具体的工夫	<p>外観は、親しみやすい明るい色調の石による壁面と、高岡の歴史的な千本格子の町並みをイメージした可動式アルミルーバーにより構成した。ルーバーは高岡を象徴する素材であるアルミニウムを使用している。歩道に面した部分に植栽を施し、道路向かいの古城公園の豊かな景観と調和するように配慮した。 また、施設内部の活動が外部から見えるようにロビーや文化センターの機能等と配置している。</p>		
写真			
	撮影 小川 重雄		